

## 規制仕分けに関する意見募集について

成長戦略・経済対策PT座長 直嶋正行  
成長戦略経済対策PT事務局長 近藤洋介

連日のご活躍に心より敬意を表します。

3月6、7日に行政刷新会議による「規制仕分け」が開催されます。そこで、党所属議員の皆様のご意見を頂いた上で、仕分け参加者が規制仕分けの現場に臨めるよう、以下の対象項目（12項目）について意見の募集を行うことといたしました。

別紙のフォーマットにご記入の上、ご多忙のところ、急なご案内で恐縮ですが、3月4日（金）14時までに民主党政策調査会事務局までご提出願います。

### 規制仕分け対象項目（12項目）

- ・ 一般用医薬品のインターネット等販売規制
- ・ 訪問看護ステーションの開業要件
- ・ 医薬品及び医療機器の審査手続
- ・ マンション投資への悪質な勧誘
- ・ 貴金属等の買取業者による自宅への強引な訪問買取
- ・ パーソナル・サポート・サービス推進上の諸課題
- ・ 我が国酪農の競争力強化のための見直し
- ・ 認定農業者制度
- ・ 農業用施設用地の大規模野菜生産施設等建築による農地転用基準
- ・ 電気自動車の急速充電器の設置に係る電力契約の規制
- ・ リチウムイオン電池の取扱規制
- ・ 再生可能エネルギーの導入に関する規制（保安林・国有林）

## 成長戦略・経済対策PT 規制仕分けに関する意見

(議員ご氏名)	参議院議員	辻 泰弘
(項目名)	一般用医薬品のインターネット等販売規制	
(ご意見)	<p>インターネットによる医薬品の販売は、安全性の確保についての実効性が全く担保されないものであり、国民の健康被害を防止する見地から、規制は緩めるべきではない。</p> <p>副作用を伴う医薬品の販売については、利便性の追求よりも安全性の追求が優先されるべきであり、利便性が一定の制約を受けることもやむを得ない。</p> <p>現在、情報提供が十分でないからなくても同じだとの論理は極めて乱暴・粗雑な議論であり、国民福祉の向上を求める道ではない。</p> <p>一般用医薬品の販売に関しては、薬剤師、登録販売者などの専門家がリスクの程度に応じた情報提供と相談対応を行う体制がスタートしたばかりである。このような現行の対面販売の原則は維持すべきものとする。</p>	
(備考)		

## 成長戦略・経済対策PT 規制仕分けに関する意見

(議員ご氏名)	参議院議員	辻 泰弘
(項目名)	訪問看護ステーションの開業要件	
(ご意見)	<p>訪問看護ステーションの一人開業の解禁は、サービス供給の安全性、経営の安定性が十分確保されないものであり、国民福祉の向上に資することにはならない。</p> <p>そもそも、一人開業の解禁を求める国民のニーズはあるのか、大いに疑問である。</p> <p>一人開業の解禁には反対である。</p>	
(備考)		

## 成長戦略・経済対策PT 規制仕分けに関する意見

(議員ご氏名)	参議院議員	辻 泰弘
(項目名)	医薬品及び医療機器の審査手続	
(ご意見)	<p>ドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの解消に向けた政策努力は必要である。</p> <p>現在の治験は、医師主導治験においても民間企業が担わなければ進まないものとなっているが、これを基本とするならば、「儲かる見込みのない」医薬品などの速やかな薬事承認は期待できない。</p> <p>対象者が少なく、企業採算の面からは「儲かる見込みのない」医薬品などについては、国などの公的主体が積極的に取り組む、いわば「国主導治験」のような体制を確立すべきである。その際、国が財政的な措置を講じた上で、民間企業に担ってもらうことはあり得るものとする。</p> <p>いずれにせよ、治験のあり方には抜本的な改善が必要である。</p>	
(備考)		